

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年1月26日(2022.1.26)

【公開番号】特開2021-29426(P2021-29426A)
 【公開日】令和3年3月1日(2021.3.1)
 【年通号数】公開・登録公報2021-011
 【出願番号】特願2019-150647(P2019-150647)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年1月18日(2022.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球を用いた遊技を行う遊技領域を形成する遊技盤を備え、記録媒体に記録されている有価価値の情報の読み取りおよび書き換えを行うユニットと双方向に通信可能に構成され、内部に封入された遊技球を循環させて遊技を行う封入式弾球遊技機であって、操作により設定された抽選確率に従って遊技の進行を制御する主制御手段と、前記ユニットから受信したデータを持ち球数として記憶し、遊技球の発射数を前記持ち球数から減算し、賞球数を前記持ち球数に加算して前記持ち球数を管理する枠制御手段と、遊技の進行に応じて演出図柄を画面上に表示する制御を行う演出制御手段と、を備え、遊技開始後、前記持ち球数が所定個数以上増加したとき又は減少したとき、前記抽選確率が所定確率であれば、高確率である旨を示唆する演出を示唆演出手段により行う、ことを特徴とする封入式弾球遊技機。

30

【請求項2】

請求項1に記載の封入式弾球遊技機において、前記持ち球数が所定個数以上増加したとき又は減少したときが所定時間内又は所定時間以上であれば、前記抽選確率が所定確率であれば、高確率である旨を示唆する演出を行う、ことを特徴とする封入式弾球遊技機。

40